



公益財団法人8020推進財団 のご案内

毎日のお口のケアが、あなたの健康な人生を守ります
80歳になっても自分の歯を20本以上保ちましょう！

8020推進財団は、厚生大臣（現厚生労働大臣）の許可を得て平成12年12月1日に設立されました。
国民の積極的な健康づくりに寄与することを目的に、80歳になっても自分の歯を20本以上保とうという運動
「8020(ハチマルニイマル)運動」を推進していくために活動しています。

8020推進財団では、8020運動の趣旨にご賛同いただける賛助会員を募集しています。
どなたでも入会できますので、多くの皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

公益財団法人 8020 推進財団

東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館内
TEL: 03 (3512) 8020 FAX: 03 (3511) 7088
URL <http://www.8020zaidan.or.jp/>

お口のケアは、全身の健康維

健康長寿への関心が高まる今、お口のケアの大切さを、もっと広く知っていただくための活動を行っています。



8020の達成を目指して

8020推進財団では、80歳になっても自分の歯を20本以上保とうという「8020運動」を通じ、自分の歯で噛むことが生命の根源の力、生きる力に直結していることを、国民1人ひとりに知っていただくために活動しています。

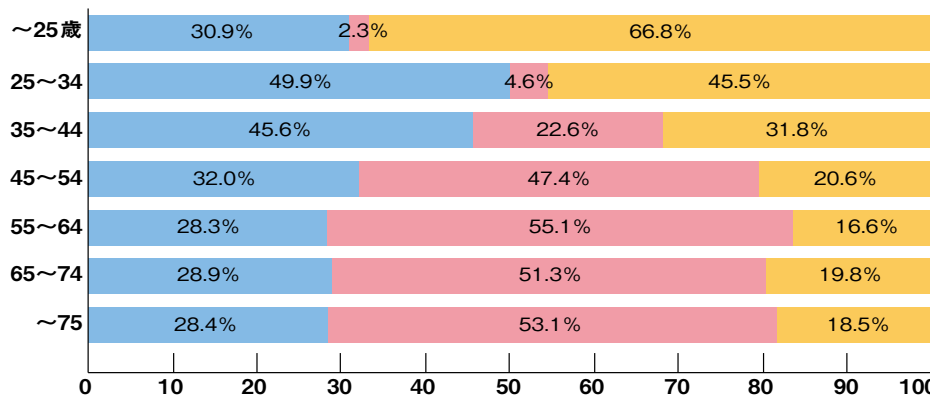
ただ長生きするだけでなく、健康で満足度の高い人生を送っていただくために、「食べる」という生命維持の基本的な行為に直結している〈歯と口腔衛生の大切さ〉を、さまざまな媒体を活用し、訴えています。

また、併せて正確な情報提供のために必要な調査・研究も行っています。



歯を失う原因 年齢階級別

■むし歯 ■歯周病 ■外傷、矯正、その他



(2005年 本財団調査)

持へのファーストステップ



公益財団法人 8020推進財団の 主な推進事業

普及・啓発事業

- 会誌（年1回発行）
- 8020 運動ポスター
- 歯科健康小冊子
- 会員レター
- 学術集会
「フォーラム 8020」

調査・研究事業

8020運動に関する研究を推進するため、研究課題を公募等により選定し、助成を行うとともに、財団においても直接調査・研究を実施しています。

歯科保健事業助成

都道府県歯科医師会・郡市区歯科医師会など関係機関が各地域で実施している歯科保健活動事業に対して、8020運動の普及啓発と歯科保健意識の向上のための助成交付を行っています。

報告会・発表会等の実施

歯科保健事業報告会・公募研究発表会を実施し、8020運動に深く関わる歯科医師、歯科保健関係者、行政関係者、教育関係者、一般の方々の参加を求め、講演や話題性に富んだディスカッションを行っています。

情報提供

歯科関係者をはじめ、一般の方々にも8020運動や歯科に関する最新情報、トピックスについて各種報告書を発行し、ホームページ等で提供しています。



8020 推進財団の主な事業等の推移

2000年	財団法人8020推進財団設立
2001年	会誌「8020」創刊（以降、年1回発行）／公募研究事業開始（以後、継続的に実施） 財団設立1周年 記念シンポジウム開催
2002年	第1回フォーラム8020を開催（以降、継続的に実施） 小冊子「めざそう8020」発刊（以降、普及啓発のための小冊子等を策定）
2003年	歯科保健活動助成事業開始（以降、継続的に実施）
2005年	「永久歯の抜歯原因調査」報告書公表
2007年	ポスター募集事業開始（以降、継続的に実施）
2008年	8020運動20周年記念式典・シンポジウム開催
2011年	公益財団法人に移行
2012年	歯科保健事業報告会・公募研究発表会開始（以降、継続的に開催）
2014年～	「歯科医療による健康増進効果に関する調査研究」開始および報告書公表

21世紀における国民健康づくり運動 健康日本21（第二次）



歯・口腔の健康に関する目標

項目	現状	目標（平成34年）
歯の喪失防止		
80歳で20歯以上 の自分の歯を有する者の増加	25% (平成17年)	↑ 50%
乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加		
3歳児 でう蝕がない者の割合が 80%以上である都道府県の増加	6都道府県 12.8% (平成21年)	4倍を目標 ↑ 50% 23都道府県
12歳児 の1人平均う歯数が 1.0歯未満である都道府県の増加	7都道府県 14.9% (平成22年)	4倍を目標 ↑ 60% 28都道府県
歯周病を有する者の割合の減少		
20歳代 における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	31.7% (平成21年)	↓ 25%
40歳代 における進行した歯肉炎を有する者の減少	37.3% (平成17年)	↓ 25%
60歳代 における進行した歯肉炎を有する者の減少	54.7% (平成17年)	↓ 45%
口腔機能の維持・向上		
60歳代 における咀嚼良好者の増加	73.4% (平成21年)	↑ 80%



賛助会員を募集しています

～どなたでも入会できます～

歯科医師、歯科衛生士等の専門家でなくてもご入会できますので、
所定の申込書に必要事項をご記入のうえ、当財団事務局までお申込みください。